

## 令和5年度市民と議会との懇談会（分野別）実施報告書

### 1. テーマ

除雪シーズンを前に、協力を頂く遠野市内建設業者の対応状況について及び土木・建築工事等公共事業の減少が顕著のことから、地域建設業の今後の存続等についてなど、岩手県建設業協会遠野支部より意見交換会の申し出があったので、遠野市議会基本条例第7条（市民との懇談会）及び市民との懇談会開催要綱に基づき意見交換を行ったもの。

### 2. 開催日時

令和5年10月17日（火）午後3時から

### 3. 開催場所

遠野市大工町4-5（むら耕会議室）

### 4. 参集範囲

別紙出席者名簿のとおり

### 5. 意見交換内容

まず初めに、遠野市議会産業建設常任委員会佐々木委員長のあいさつに続き、岩手県建設業協会遠野支部の阿部矩勝支部長の挨拶に続き、岩手県建設業協会遠野支部仁田清巳事務局長より下記の通り要望があったもの。

○地域建設業は地域経済の活性化、雇用の確保、地域の担い手、守り手として機能している。

○その機能を発揮するには事業量を確保し、安定した経営を維持することが必要です。

○そのためには持続的な建設投資額の確保が必要。

このことにより、地域の担い手、守り手の維持、確保が可能となり、地域雇用が図られ、地域経済に寄与するものと、別紙資料に基づき説明があった。

その後意見交換を行ったもの。

### ■意見交換会で出された内容

#### 【工事関連】

・遠野市の8款土木費予算が県内の人口規模が同等な二戸市、八幡平市と比較しても3億円以上少ない。

・普通建設事業費は前年度比較で大幅な増額となったが、建物（建築）施設整備費の大幅な増がその要因である。

・遠野市の土木工事の発注件数が少なく、県や他市町村に代替えを求めているがそれでも受注量の確保は厳しい。

・市内の土木建設業者の元受け金額は令和3年度と比較して7億も減額となっている。

・建設就業者は、55歳以上が34%、29歳以下が11%と高齢化が進行し次世代への技術継承が大きな課題。

・高齢者の大量離職が見込まれることから、新たな担い手の確保が必要。

・良好な完成品にするため早期発注に努めていただきたい。

### 【除雪関連】

- ・除雪を行う業者が減少し対応に苦慮している。
- ・オペレーターの高齢化（50歳以上が半数）が進み除雪の技術を有する社員・熟練者ともに減少し、それが原因で市民からの苦情が増加している。
- ・降雪が多い年と少ない年の稼働差が大きいので待機料を設定している。
- ・除雪車が給油するガソリンスタンドが不足のため、ドラム缶で確保している。
- ・除雪車がガソリンスタンドまで移動時間は除雪作業時間から除外されるなど矛盾がある。
- ・除雪機械を自社保有するのは、経営リスクが大きいので、市でリースして貸与してほしい。
- ・今まで除雪機械は県からの払い下げがあったが最近なくなった。除雪機械の確保に苦慮している。リースしても雪が少ないなどもあり対応に限界がある。リース料の支援があれば。
- ・市で除雪機の保有台数を増やし貸与してほしい。
- ・公共事業が減少する中、除雪に携わる土木建設業者の体力が低下している。
- ・除雪業務は稼働状況に応じた支払い方法となっており、オペレーターを待機させても降雪状況により稼働しないこともあるなど不安定である。
- ・深夜の降雪量の測定、食事の準備等冬期間はオペレーターの家族も大変である。家族手当も必要ではないか。
- ・暖冬、小雪等で稼働時間が少ない場合、除雪機械の維持管理（減価償却費、点検費、税金等固定経費）が大きな負担となる。
- ・雪不足の場合除雪車や作業人員を準備しても除雪費の支払いがなく、経営に影響する。その場合の支援を考えてほしい。

### 【遠野支部部異常災害発生時緊急出動連絡系統図】

- ・別紙の通り資料に添付され説明された。

### 【災害時における緊急対策業務に関する協定】

- ・別紙の通り資料に添付され説明された。

### 【遠野支部鳥インフルエンザ等防疫対応組織編制】

- ・鳥インフルエンザが発生した場合処理に当たる作業班 20 社で3班を構成し埋却溝床堀、処分畜の埋却溝への投入、埋め戻し、ブルーシート施設、消毒液散布補助、埋却地の柵囲い。を行う体制が講じられていた。

別紙資料参照。

- ・そのほか、来年4月の規制改革「建設業の働き方改革」に伴い人手不足への対応の苦慮について提起された。

## ■意見交換を踏まえての対応

建設業協会から提起された課題については、議会は執行者ではないことから回答は極力避け、当産業建設常任委員会で改めて検討会議を開催し、必要に応じて市議会の場で提言等に努めていくとして理解を頂いた。

また、来年度も意見交換会の要請があった。

### 【第5回産業建設常任委員会】

開催日：令和5年11月6日（月）午前9時より

場 所：本庁舎3階中会議室A

目 的：建設業協会との意見交換を踏まえ課題等の検討のため常任委員会を開催したものの。

内 容：岩手県建設業協会遠野支部との意見交換会に係る総括について及び馬の里等馬事振興に関する研修について。

(1) 意見交換において提起された内容は極めて重要な案件である。

(2) 産業建設常任委員会としては、今後の市議会定例会における一般質 及び予算等特別委員会の場で市長及び当局に対して、現状認識についての質問さらには 提言等を行う必要がある。。

なお、情報を共有するため、議員全員協議会の席で報告する事が必要とまとめた。

(3) 馬事振興に頑張っておられる青森県十和田市の乗馬クラブを来年度視察することについて協議実施する方向とした。

## ■考察

・災害発生時の対応や除雪対など土木建設会社は極めて重要な役割を担っている。

さらに土木建築に関わる社員等は、市の人口の約半数との分析もあるなど、雇用確保にも大きくかかわっている土木建築業者の育成と確保は重要なことである。

しかし近年の公共事業の減少から存続も危ぶまれる現状から、当常任委員会では、当局の担当課さらには財政部局とも話し合いが必要と思った次第である。

今般の意見交換会は大変有意義であった。

以上報告します。